

4

## 離乳食スタート期（生後5ヶ月頃～）

お食事  
チェア

テディハグは一般的なローテーブルの高さにぴったり合うように設計されており、離乳食イスとしても大活躍！リクライニングで成長に合わせて、無理のない姿勢で座れるから、ごはんを食べることが大好きに！  
食べこぼしもサッと拭き取れて、後片付けも簡単★

食べ物・飲み物をこぼしたら、  
すぐに拭き取りましょう！

多くのものは簡単に拭き取ることができますが、色の濃い物（コーヒー、お茶など）をこぼすと、色素が移ってしまうことがあります。十分ご注意ください。  
※詳しくは、表紙の「お手入れ方法」をお読みください。

## 歯が生えてきたらご注意ください！

歯の生え始めの時期は、テディハグのベルトや冠までカミカミしてしまうことがあります。フェイクレザーがはがれて飲み込んでしまわないよう、十分ご注意ください。おもちゃホルダーに歯固めを取り付けて、カミカミしたい気持ちを満たしてあげましょう。

前かがみの姿勢は  
起き上がりたい合図！

ベルトをしたまま前かがみになると、お子様の力によっては背もたれのリクライニングロックが解除されてしまうことがありますので注意してください。お子様は「もっと起き上がりたい！」と思っているのかもしれない。背もたれを起こして、視界を広げてあげましょう。



※ベルトをしたまま、極端に前かがみにならないよう十分ご注意ください。

5

## じぶんで立ち期（1歳頃～）

キッズ  
チェア

自分で立ち上がれるようになったら、ベルトは卒業です。  
テディハグに座って過ごす時間は、だんだんと減ってくるかもしれません。「おやつを食べるときはここに座ろうね」というように声をかけて、お座りする習慣をつけてあげるのがオススメ！  
小さな頃から一緒に過ごしてきたイスですから、愛着を持って長〜く大切にしてくれるはずですよ。



## つかまり立ち・よじ登りは危険です！



背もたれやひじ掛けにつかまって体重をかけたり、よじ登ったりすると、転倒の危険があります。安定性を高めるため、本体の脚を外してお使いいただくこともできますが、思わぬ事故を防ぐため、保護者の方が必ずそばで見守ってあげてください。（脚を取り外した際は、床面のキズ防止のため、カーペットなどの敷物を敷いてお使いください。）



大人まで  
ず〜とお使いいただけます♥

Teddy Hug®

テディハグ

## 成長サポートガイド

保存版

大切に保管して  
ください。

201712



テディハグは、お子様の「成長を見守るイス」として、お腹にいる時から大人まで長くお使いいただけます。日々成長し、できることが変化のお子様と、その成長を見守る大人の方のために、テディハグがお手伝いできること・気を付けていただきたいことをまとめました。初めに一通り目を通して、その後はお子様の成長に従って読み返してみてください。  
“ハグちゃん”が各ご家庭でママの育児サポート役として活躍することを願っています。  
※ご使用前には別紙「取り扱い説明書」も必ずお読みください。

## ユーザーサービスのご案内

## ♥ テディハグ公式 SNS アカウント

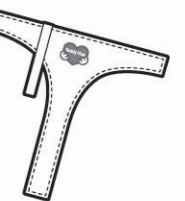
フォトコンテストやユーザーモデル募集など、“ハグちゃん”との生活がもっと楽しくなるキャンペーンを毎月実施しています。プレゼントとして、おもちゃメーカーであるピープル株式会社のおもちゃをゲットできるチャンスもいっぱい！詳しくは、ピープルホームページをチェックしてみてください。



## ♥ ベルトサイズ対応サービス

「チェア」としてお使いいただく際、自分で立ち上がれるようになるまで（1歳頃まで）は、必ずベルトを付けてください。（ベルトの正しい付け方は、「取り扱い説明書」をご覧ください。）ベルトはお子様の体型に合わせて調節できるようになっていますが、お子様の体型によっては、ベルトがきつい・ゆるい等、サイズが合わない場合があります。そのままお使いいただくのは大変危険ですので、お早めにご相談ください。状況をお伺いし、対応させていただきます。

※ご使用されるうちにボタン穴が広がることにより、ベルトが外れやすくなったり、ベルトの両側をしっかりとめることが不可能となった場合も、対応させていただきます。



よくあるご質問はピープルホームページでご案内しています。

その他のご質問や、ベルト対応サービスのお申込み、商品保証についてのお問い合わせは、ピープルお客様相談係 まで

☎03 (3862) 3739 電話受付時間：月～金曜日（祝日を除く）10:00～12:00・13:00～16:00

## お手入れ方法

## ● 製品の汚れは…

- ・水または中性洗剤で濡らした布をかたくしぼって拭き取ってください。
- ・汗などによる変色の恐れがありますので、汚れが付いていなくても定期的に表面を拭いて清潔にしてください。
- ・中性洗剤以外の薬液（除菌剤、ウェットティッシュ、研磨剤入り洗剤など）、化学ふきん、金属たわしは使用しないでください。また、生地に傷が付いてしまいますので、固いものではこすらないでください。
- ・衣類の染料、油性ペンなどは一度付いてしまうと落とすことができませんので、十分ご注意ください。
- ・本製品にはファスナーが付いていますが、カバーを取り外すことはできません。クッション材を入れるために製造上設けたものですので、絶対に開けないでください。

## ● 食べ物・飲み物をこぼしたら…

- ・食べ物・飲み物をこぼしたら、時間を置かず拭き取ってください。
- ・色の濃い物（コーヒー・お茶など）をこぼすと、色素が移ってしまう事があります。十分ご注意ください。

## ● ベルトが汚れた時は…

- ・本体同様、水または中性洗剤で濡らした布をかたくしぼって拭き取ってください。  
※丸洗いはできません。
- ・おもちゃホルダーのみ手洗いができます。お子様が舐めたりして汚れた時は、ベルト本体を濡らさないように気を付けながら、やさしく洗ってください。





# テディハグに“肩ベルト”がないのには理由があります。

テディハグは「抱っこじゃないと泣いちゃう」というママの悩みを助けるため「ママの抱っこの居心地の良さ」を追求した結果、あえて“肩ベルト”をつけていません。無理に押さえつけることなく胸のあたりから赤ちゃんを支え、包み込むようにホールドするハグベルトは、「泣かずに座っていてくれる!」と、ママ達に嬉しい評価を頂いています。一方で、好奇心旺盛な赤ちゃんはごきげんで抱っこをされていても、いろいろな場所に興味を向いています。時には、テディハグの抱っこから脱出してしまふこともあるかもしれません。「まだうちの子は動けない」と思って油断せず、必ず保護者の方がそばで見守ってあげてください。お子様を付き添いなしで一人にしないでください。



## テディハグとお子様の成長ストーリー

### 1 マタニティ期～生後0ヶ月

リビングソファ



耐荷重 70kg のテディハグは、マタニティ期のママもゆったりリラックスした姿勢で座れます! (もちろんパパも座れます。) 赤ちゃんだけの使用は生後1ヶ月～なので、生まれたての赤ちゃんはママが抱っこして、二人一緒に座りましょう。4段階リクライニングで、授乳にぴったりな角度もきつと見つかるはず!



### ひじ掛けには体重をかけないで!



テディハグのひじ掛けは、赤ちゃんの居心地を良くする目的で付けられたものです。立ち上がる時、おむつ替えの際などに、ひじ掛けに手をつけて左右に偏った荷重をかけると、本体が傾いて転倒する恐れがありますので、十分にご注意ください。安定性が気になる方は、本体の脚を外してお使いいただくことも可能です。(脚を取り外した際は床面のキズ防止のため、カーペット等の敷物を敷いてお使いください。)

### 2 ねんね期(生後1～3ヶ月頃)

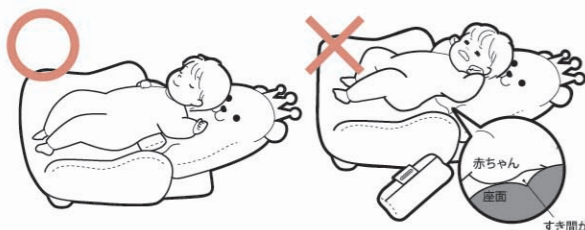
リビングベッド



首がすわる前の赤ちゃんは、背もたれを完全に倒して「リビングベッド」として使いましょう。ママの抱っこを再現した独自形状の座面が、赤ちゃんをやさしく包んでくれるから、ぐっすり Zzz じっとしてしてくれるので、その場でおむつ替えなどのお世話もラクラク!



### サポートクッションは必ず付けましょう!



サポートクッションを付けることで、背もたれと座面の間のくぼみが埋まり、快適な姿勢を保つことができます。体重がかかることによって丁度良い厚みになるように設計していますが、お子様の背中が沿ってしまうほどクッションが厚い場合は、代わりに薄手のタオルなどですき間を埋めてあげてください。

※腰への負担を軽減するため、サポートクッションは常に付けて使用することをおすすめします。付け方は別紙「取り扱い説明書」をご覧ください。

### タオルを敷くことで快適度がUP!

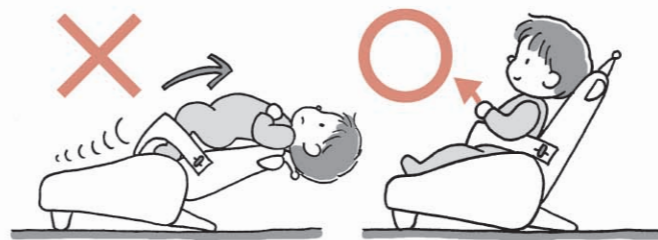
フェイクレザーの性質上、体が小さいうちはテディハグの上で体が滑り、ねんねの位置がずれていってしまうことがあります。また、ねんねをしているときはたくさん汗をかいたり、よだれや吐き戻しも多い時期。タオルを敷くことでより快適にお使いいただけます。

### 寝返りにご注意!



寝返りできるようになる頃には、「リビングベッド」としてお使いいただく場合にもベルトのご使用をおすすめします。ベルトの付け方は、別紙「取り扱い説明書」をご覧ください。

### 足の力が強くなってきたら、リクライニングをあげてみましょう



足の力が強くなってくると、座面を蹴るようになります。背もたれを完全に倒した状態にしていると、お子様によってはベルトから上に抜け出してしまう可能性があります。落下の危険がありますので、起きているときはリクライニングを起こしてあげることをおすすめします。

※リクライニングを起こす場合は、必ずベルトを付けてください。ベルトの付け方は別紙「取り扱い説明書」をご覧ください。

### 3 おすわりスタート期(生後4ヶ月頃～)

ベビチェア



首がすわったら、様子を見ながらリクライニングを起こしてあげましょう。赤ちゃんの見える景色が変わって、ごきげん度がUPします。おもちゃホルダーにお気に入りのおもちゃを取り付ければ、元気に振り回しても遠くに飛んで行ったりしないので安心です。



### 自分で立ち上がれるようになるまでは、必ずベルトを使いましょう!

思わぬ落下や転倒を防ぐため、寝返りを始めてから自分で立ち上がれるようになるまでは、必ずベルトをつけてあげてください。※ベルトの付け方は、別紙「取り扱い説明書」をご覧ください。

お子様は日々成長しています! **必ず守る** お子様を座らせたら、以下の点を毎回必ずチェックしてください。

- チェック!**
- ベルトの股の部分がゆるみなくフィットしていますか?
  - お子様の腕は、ベルトの外側に完全に出ていますか?
  - ベルトの上端が、お子様のわきの下部分にきていますか?
  - お子様の上半身が、前後左右にぐらぐらしたりしませんか?
  - 両側のボタン穴とボタンが十字になっていますか?

ベルトがゆるすぎて体をのけぞらせたり、イスから体がはみ出るほど前後左右に大きく動いたりしていると、イスが転倒する恐れがあります。ベルトのボタン穴の位置を変えても、お子様にサイズが合っていない場合、表紙の「ベルトサイズ対応サービス」にご相談ください。

